



平成 20 年 4 月 22 日

各 位

会社名 株式会社 省電舎  
代表者名 代表取締役社長 中村 健治  
(コード番号: 1711 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役 嘉納 毅  
(TEL: 03-6821-0004)

## 業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 19 年 5 月 15 日の決算短信発表時に公表した平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日~平成 20 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 平成 20 年 3 月期連結業績予想数値の修正(平成 19 年 4 月 1 日~平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	4,700	95	70	35
今回修正予想(B)	4,512	104	123	235
増減額(B-A)	187	199	193	270
増減率(%)	4.0	-	-	-
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 3 月期)	2,284	41	44	34

前事業年度は決算期変更に伴う 6 ヶ月決算となっております。

### 2. 平成 20 年 3 月期個別業績予想数値の修正(平成 19 年 4 月 1 日~平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,700	60	50	26
今回修正予想(B)	1,274	161	187	282
増減額(B-A)	425	221	237	308
増減率(%)	25.0	-	-	-
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 3 月期)	795	14	15	11

前事業年度は決算期変更に伴う 6 ヶ月決算となっております。

### 3. 修正の理由

上記のとおり通期の連結業績予想並びに個別業績予想を修正いたしました。修正の理由は以下の通りであります。

#### 個別

省エネルギー事業において、当初計画しておりました販売見込みが、サブプライム問題による金融不安に端を発した景気後退懸念や為替の急激な変動を受け、事業会社における省エネルギー設備導入箇所の絞り込みがなされたことによる受注金額の減少並びに海外取引においては円高の影響を受け、当初見込んでおりました海外売上額の減少と外貨債権評価額の減少によるものであります。

また、保有しておりました風力発電機の転売を図ったことにより、特別損失を 85 百万円計上しております。これは、一連の耐震構造の偽装問題を受け、建築基準が改正されたことに伴い、当社が保有している風力発電設備の国内における設置コストが大幅に上昇する見込みとなったことから、国内での設置が困難であると判断したことによるものであります。

#### 連結

連結業績予想の修正理由につきましては、主に個別業績の影響によるものであり、ファシリティマネジメント事業及びロジスティクスサポート事業につきましては当初予測以上の実績となる見込みであります。

(注) 本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、今後、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

#### 4. 特別損失の計上について

上記、業績予想の修正理由にも記載のとおり、一連の耐震構造の偽装問題を受け、建築基準が改正されたことに伴い、当社が保有している風力発電設備の国内における設置コストが大幅に上昇する見込みとなったことから、国内での設置が困難であると判断し、保有しておりました風力発電機の海外への転売を図ったことにより、特別損失を 85 百万円計上しております。

以上